

## 世界水資源関連株式ファンド

## 第6期決算と今後の見通しについて

2026年4月3日

平素は、『世界水資源関連株式ファンド』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2026年4月2日に決算を迎えました。当期の運用状況と今後の見通しについてまとめましたので、報告申し上げます。

米中貿易摩擦懸念の後退やFRB（米連邦準備制度理事会）の利下げ、米国の経済指標の堅調さを背景に基準価額は前期末より上昇しました。前期末の基準価額は11,824円、当期末の分配金支払前の基準価額につきましては12,730円となり、906円の上昇となりました。なお、基準価額の水準や動向等を勘案した結果、今期の分配金を100円（1万口当たり、税引前）といたしました。

なお当ファンドは、中長期的な信託財産の成長を目指すため分配金を抑える見直しを実施しています。

引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## [ご参考・収益分配方針]

① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。

② 原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

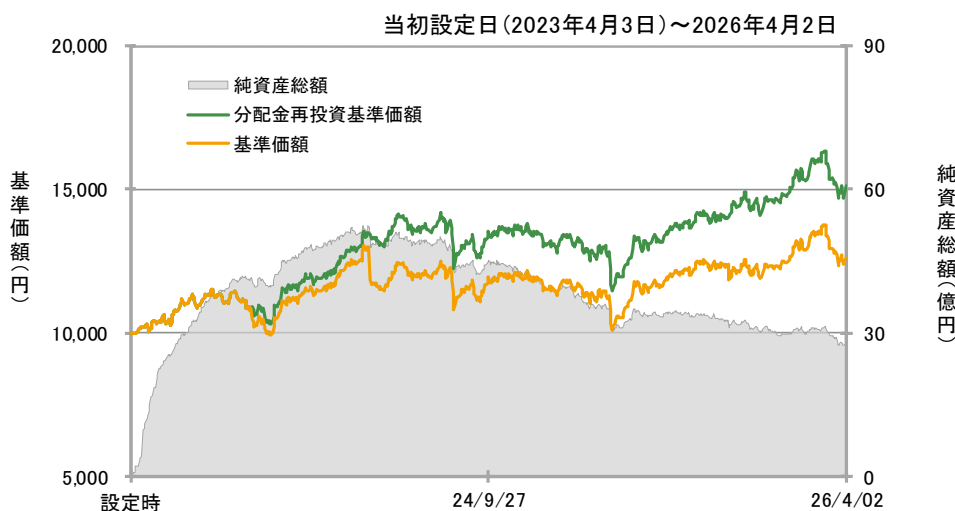
## ■ 基準価額・純資産・分配の推移(2026年4月2日時点)

基準価額	12,630円
純資産総額	27億円

## 《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金
第1期	(23/10/2)	400円
第2期	(24/4/2)	1,100円
第3期	(24/10/2)	0円
第4期	(25/4/2)	0円
第5期	(25/10/2)	550円
第6期	(26/4/2)	100円

分配金合計額 設定来：2,150円  
直近5期：1,750円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和アセットマネジメント）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

※以下のコメントは、BNPパリバ・アセットマネジメントが提供するコメントを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

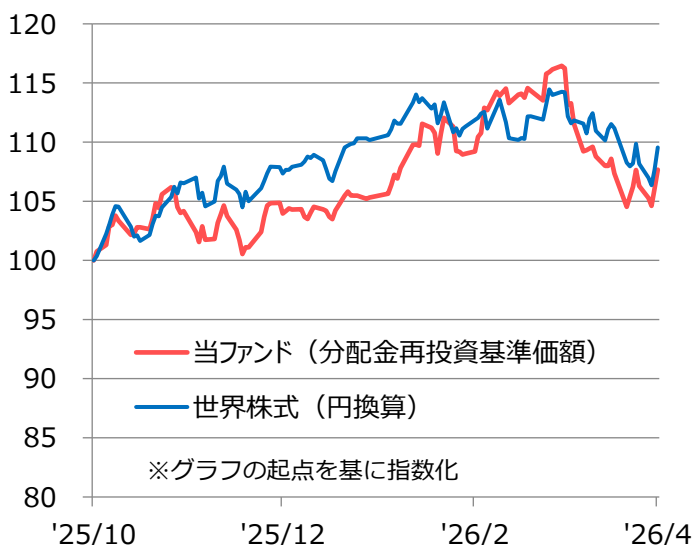
## 当期の投資環境：堅調な米国景気の一方で、地政学リスクなどに警戒感

当期間（2025年10月3日～2026年4月2日）の世界株式市場は上昇しました。期初は、米中首脳会談を通じて貿易摩擦への懸念が後退したことなどから上昇して始まりました。その後、AI（人工知能）銘柄を中心に高値警戒感が広がったことなどから下落しましたが、米政府機関の閉鎖解除、ウクライナをめぐる和平協議進展への観測が広がったことから上昇に転じ、FRB（米連邦準備制度理事会）が利下げを決定したことなどから年末に向けて上げ幅を拡大しました。2026年に入って、グリーンランドをめぐる米欧の対立から一時リスク回避の動きが広がったものの、底堅い米国景気などを背景に再び上昇に転じました。しかし、AIにより既存業務が代替されるのではないかと警戒感が高まったことや、米国・イスラエルのイラン攻撃による地政学リスクの高まりを受けてリスク回避の動きが鮮明となり、世界株式市場は期末にかけて下落しました。

また、投資対象通貨については、米ドルとユーロが対円で上昇しました。米ドルは、期前半のFRBの利下げ観測の後退や政府機関の閉鎖解除、期後半の製造業PMI（購買担当者景気指数）などの経済指標が好調だったことなどから、対円で当期間を通じて概ね上昇しました。ユーロは、ユーロ圏のPMIが改善を示したことやECB（欧州中央銀行）の利下げ観測後退、加えてエネルギー価格上昇懸念を受けたインフレ加速懸念から、対円で当期間を通じて概ね上昇しました。また、高市政権発足による拡張的な財政政策に対する警戒感の高まり、追加利上げに対する日銀の慎重姿勢なども円安進行の要因となりました。

### 当ファンドと世界株式のパフォーマンス比較

（2025年10月2日～2026年4月2日）

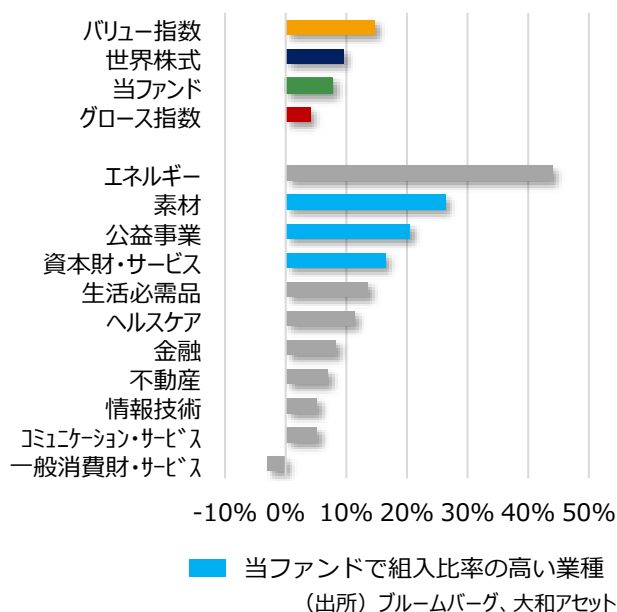


（出所）ブルームバーグ、大和アセット

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。※「世界株式」はMSCI ACWI Indexを使用しています。また、当ファンドのベンチマークではありません。円換算は、前営業日の指数値に当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を乗じて算出しています。※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

### 世界株式の業種別・スタイル別パフォーマンス

（2025年10月2日～2026年4月2日）



※世界株式・業種別指数・スタイル別指数はMSCI ACWI Indexを使用しています。また、当ファンドのベンチマークではありません。円換算は、前営業日の指数値に当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を乗じて算出しています。※「当ファンドで組入比率の高い業種」はGICS11分類による当ファンドの組入上位3業種。※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

## 当期の運用状況：基準価額は上昇するも、エネルギー価格急上昇が重荷となり、世界株式を下回る

基準価額は、米中貿易摩擦への懸念が後退したほか、FRBが利下げを決定したことや米国の経済指標が堅調だったことなどから上昇しました。世界株式（円換算）に対しては、2026年に入り、一部のIT関連企業の株価が調整するなか、上回る局面も見られたものの、期末にかけて米国・イスラエルのイラン攻撃を受けてエネルギー価格が急上昇したことが重荷となり、世界株式（円換算）を下回りました。

セクター別では、情報技術のアンダーウェイトや、資本財・サービスや素材のオーバーウェイトなどがプラスに寄与しました。一方で、資本財・サービスにおいては、AIがビジネスモデルへ与える影響が懸念されている一部のインフラ・サービス関連銘柄の下落が下押し圧力となり、マイナス寄与しました。また、素材においては、金やレアメタルなどのコモディティ価格の上昇により、関連銘柄がアウトパフォームするなか、当戦略はコモディティ関連銘柄を非保有としていたことが銘柄選択におけるマイナス寄与の要因となりました。

個別銘柄では、**パーティブ・ホールディングス**（AIデータセンター構築の恩恵を受けているデジタルインフラ製品会社）や、**栗田工業**（半導体設備投資への期待が高まったほか、産業センチメントの改善が追い風となった水処理企業）などがプラス寄与となりました。一方、**アルカディス**（弱気な業績見通しや住宅向けエンドマーケットの低迷が嫌気されたコンサルティング会社）や、**EIコム**（AIのビジネスモデルに対する脅威に関する投資家向け説明会でコミュニケーションが不十分だった技術サービス会社）などがマイナス寄与となりました。

## 今後の相場見通し：先進国景気は底堅いと予想するものの、地政学リスクの高まりや米関税の先行き不透明感には引き続き警戒 水資源については水処理・水使用効率化の分野で旺盛な需要

米国とイスラエルがイランに軍事攻撃を行ったことやイランの報復措置を受けて地政学リスクへの警戒感が高まり、原油価格が急上昇しました。今後インフレ圧力が強まれば、中央銀行の金融政策にも影響を及ぼす可能性があり、FRBの金融政策に影響するかなどを注視しています。米最高裁は相互関税を違憲と判断しましたが、その後トランプ大統領が表明した関税措置の影響は不透明です。金融市場ではリスク回避の動きが広がる可能性もありますが、拡張的な財政政策などを背景に主要先進国の景気は底堅く、企業業績は概ね良好と見られます。今後も経済指標や政治情勢を注視するとともに、景気見通しや中央銀行の金融政策などに注意が必要です。

水資源テーマについては、見通しに変更はありません。世界の地方自治体の水道支出は堅調で、工業需要は高度な水管理ソリューションを必要とする半導体やデータセンターの建設によって押し上げられており、水処理システム、ポンプ、分析サービスを提供する企業に恩恵をもたらすと考えています。また、AIデータセンターの水使用量に対する調査が増加しているため、水の再利用や据え置き型冷却技術への投資が加速し、当ファンドで保有する銘柄に機会が生まれています。欧州では、建設の不確実性が水関連のエンジニアリング需要を圧迫しているものの、工業用水技術は、AI主導のデータセンター拡張と半導体サプライチェーンに支えられ、依然として回復力があるとみています。

## 今後の運用方針：引き続き3つの水資源関連テーマのバランスを重視し、水関連分野における成長機会を捉えることに注力

当ファンドは3つの水資源関連テーマである「水インフラ」、「水処理・効率化」、「水道事業」をもとに、水不足をめぐる世界的課題にソリューションを提供する優良企業に投資を行ないます。

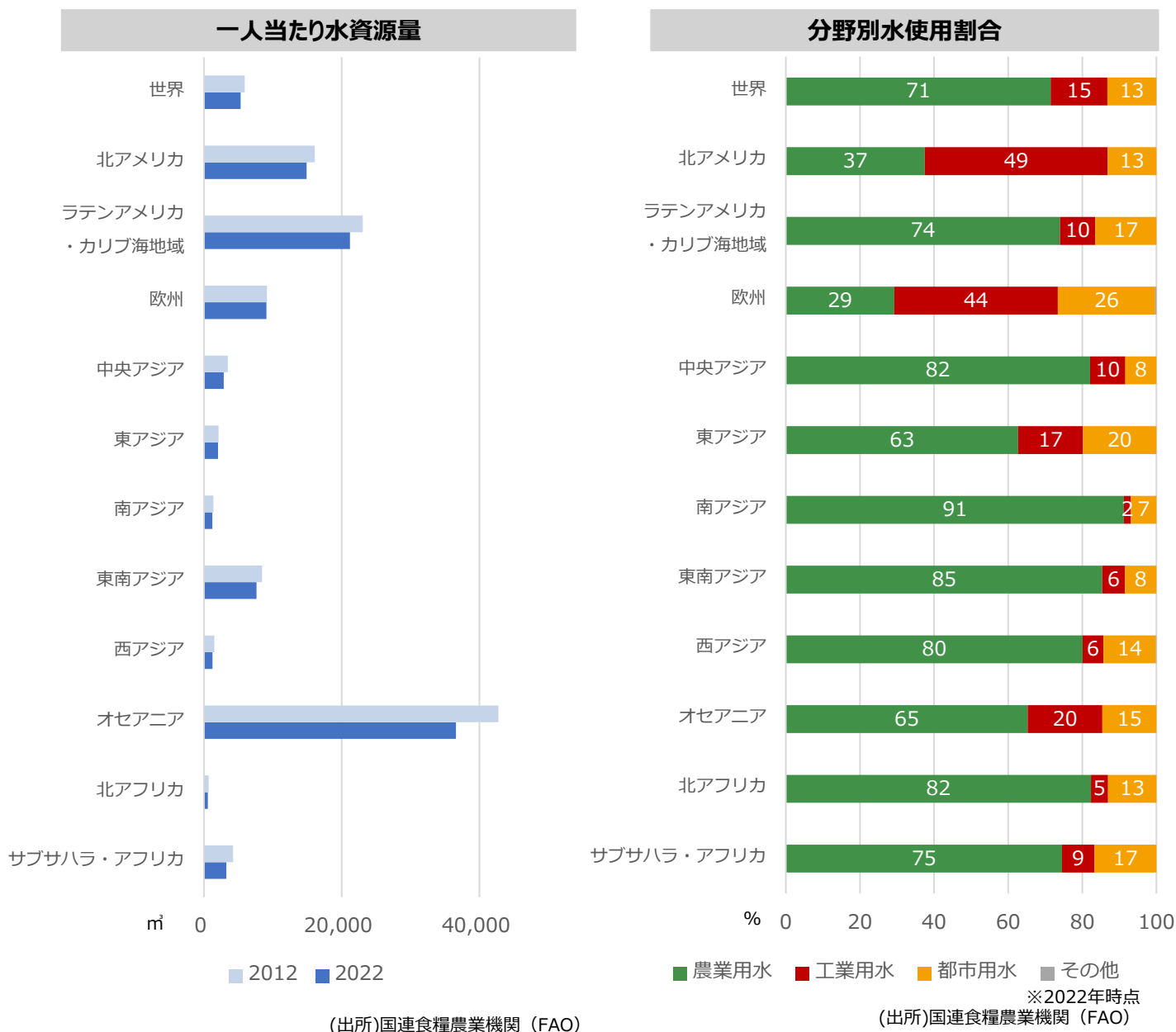
引き続き、3つのテーマのバランスを重視し、回復力のある事業特性を持ち、市場を上回る利益成長と強い価格決定力を有する優良企業に注目するとともに、水関連分野における成長機会を捉えることに注力する方針です。

## 注目トピック：水資源の需要が拡大する中、水効率利用の必要性は高まっている

世界では一人当たり水資源量が10年間で約10%減少しています。一人当たり水資源量は地域によって格差が大きく、北アフリカや西アジアなどは極めて低い水準にあります。また、水使用の用途も地域によってさまざまですが、世界的に多くを占めるのは農業、次いで工業となっています。欧米は特に工業の割合が高く、近年では、AIの活用が広がる中でデータセンターで使われる水の需要が急増しているといわれています。気候変動で水の供給が不安定であることが問題視される一方で、AI需要の拡大により水の消費量の拡大も続くと考えられており、持続可能な水利用のあり方を考えることが求められています。

このような状況を受け、欧州委員会は、2025年6月「欧州水レジリエンス戦略」を発表しました。欧州は2030年までに10%以上の水利用の効率化を目指すとしています。また、バッテリー生産や半導体、データセンターなどの水集約型産業に着目し、水およびエネルギーの利用効率化を最大限に両立させるとしています。

水需要の拡大によるインフラ新設・更新に対する需要の高まりに加えて、水消費量への規制強化によって水処理・効率化の需要も高まっていくとみており、当ファンドで保有する銘柄が恩恵を受けると考えています。



## 銘柄紹介

### バーティブ・ホールディングス (Vertiv Holdings)

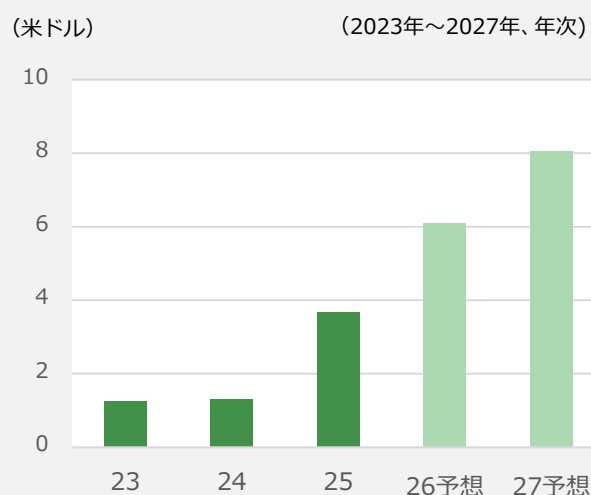
カテゴリー分類：水処理・効率化

バーティブ・ホールディングスは、データセンター、通信ネットワーク、ならびに商業・産業関連の顧客向けに、電源・冷却などのデジタルインフラ機器を提供しています。特に足元では、NVIDIAをはじめとする半導体メーカーやエコシステムパートナーとの連携を通じて、AIデータセンター向けの液体冷却ソリューションの開発・提供を進めており、液浸冷却などの技術を活用した高密度データセンターの冷却分野で事業機会を拡大しています。AI需要の急増に伴う高密度サーバーの冷却において需要の拡大が期待されるとともに、水・電力使用低減の課題解決に大きく貢献すると考え、2025年8月に新規に組み入れました。

#### 株価推移



#### 調整後EPSの推移、見通し



※2026年以降の調整後EPSは2026年3月31日時点の予想値  
(出所)ブルームバーグ

## 銘柄紹介

### 栗田工業

カテゴリー分類：水処理・効率化

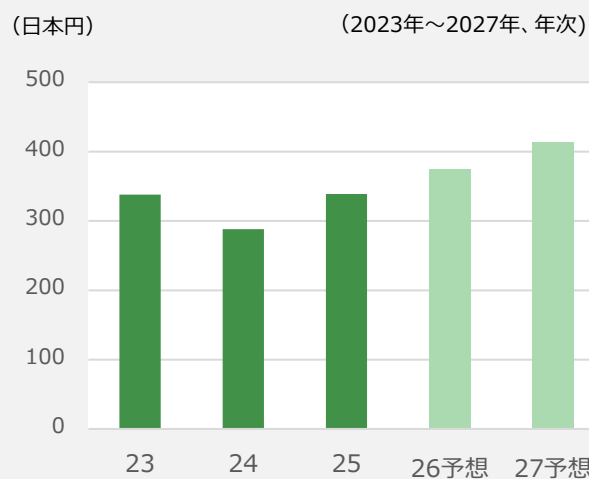
栗田工業は、超純水製造、排水処理装置、メンテナンスサービスを行っています。半導体製造に必要な「超純水」では世界的に高い技術力を持っており、半導体需要の増加が追い風となると考えています。また、高度な排水回収技術により、工場の多種多様な排水を回収・浄化し、製造工程で再利用可能な水を供給することで、節水に貢献しています。PFAS※除去にも取り組んでおり、PFASの影響等に係る多面的な情報の収集・分析、有害なPFASの特定や除去に関する事業を展開していることから、世界的な規制強化の動きにより恩恵を受けると考えています。

※PFASとは、人工的に作られた有機フッ素化合物の総称で、工業用から消費者向けまでさまざまな製品に使われていますが、環境や水を長期に汚染する可能性があると考えられています。特に問題視されているPFOS、PFOAなどは、環境中での残留性や健康への影響の懸念から「特定PFAS」として世界的に水質規制・製造規制が進んでいます。

#### 株価推移



#### 調整後EPSの推移、見通し



※2026年以降の調整後EPSは2026年3月31日時点の予想値  
(出所)ブルームバーグ

## 主要な資産の状況（2026年2月末時点）

《BNPパリバ・ファンズ アクア(U115 JPY CAPクラス)の運用状況》

※比率は、組入ファンドの純資産総額に対するものです。

※BNPパリバ・アセットマネジメントが提供するデータ等を基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

資産別構成			通貨別構成		国・地域別構成	
資産	銘柄数	比率	通貨名	比率	国・地域名	比率
外国株式	42	93.0%	米ドル	55.1%	米国	57.1%
国内株式	3	4.3%	英ポンド	13.1%	英国	11.0%
			ユーロ	12.2%	スイス	5.9%
短期資産等		2.7%	スイス・フラン	5.9%	フランス	4.6%
合計		100.0%	日本円	4.3%	日本	4.3%
			デンマーク・クローネ	3.0%	オランダ	3.8%
			スウェーデン・クローナ	2.5%	デンマーク	3.0%
			豪ドル	1.3%	スウェーデン	2.5%
					ドイツ	1.4%
					その他	3.6%

規模別構成 合計97.3%

規模	比率
大型株	68.1%
中小型株	29.1%

※大型株：時価総額100億米ドル以上、中小型株：時価総額100億米ドル未満。

業種別構成 合計97.3%

業種名	比率
資本財・サービス	59.6%
公益事業	17.6%
素材	14.5%
情報技術	2.9%
ヘルスケア	2.7%

水関連企業への投資割合

水関連企業 97.3%

※水関連企業は、水資源関連ビジネスの収益が総収益の20%以上を占める企業、または水資源関連ビジネスの利益が総利益の20%以上を占める企業、または水資源関連ビジネスへの投下資本が総投下資本の20%以上を占める企業を指します。

水資源関連ビジネスのエクスポージャー

水資源関連ビジネス 57.3%

※水資源関連ビジネスは、水インフラ、水処理・効率化および水道事業を指します。

※比率は、株式ポートフォリオに対するものです。

テーマ別ウェイト 合計97.3%

テーマ名	比率
水インフラ	45.9%
水処理・効率化	33.7%
水道事業	17.6%

組入上位10銘柄 合計35.0%

銘柄名	国・地域名	業種名	テーマ	比率
ウエリア・エンバイロメント	フランス	公益事業	水道事業	4.6%
リンデ	米国	素材	水処理・効率化	4.5%
アメリカン・ウォーター・ワークス	米国	公益事業	水道事業	4.1%
ザイレム	米国	資本財・サービス	水インフラ	3.6%
パーティプ・ホールディングス	米国	資本財・サービス	水処理・効率化	3.3%
セバーン・トレント	英国	公益事業	水道事業	3.3%
ノボニシス(ノボザイムズ)B	デンマーク	素材	水処理・効率化	3.0%
スパイラックス・グループ	英国	資本財・サービス	水インフラ	2.9%
A. O. スミス	米国	資本財・サービス	水インフラ	2.9%
KLA	米国	情報技術	水処理・効率化	2.9%

※上記データは、四捨五入の関係で合計の数値と一致しない場合があります。

※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。

※テーマ区分は、インバックス・アセットマネジメントの分類に基づきます。

## 組入上位10銘柄のご紹介（2026年2月末時点）

組入上位銘柄紹介		※BNPパリバ・アセットマネジメントが提供するコメントを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。
銘柄名(国・地域名/業種名)	銘柄紹介・ESGへの取り組み	
ウエオリア・エンパイロメント (フランス/公益事業)	ウエオリア・エンパイロメントはフランスの水道・廃棄物処理会社です。世界最大の水道事業会社であり、全世界で1億1,000万人に水道サービス、9,700万人に下水処理サービスを提供しています。水源から水道の蛇口までを維持管理するシステムをグローバルに展開する数少ない企業の一つです。	
リンデ (米国/素材)	リンデは産業ガス供給の世界最大手です。産業ガスはエネルギー効率化、汚染や排気検査だけでなく、廃水の処理にも重要な役割を果たしています。また、同社の産業ガスは、海水を淡水化した脱塩水にミネラルを加え、飲料水や農業用水に適した水準とすることが可能です。	
アメリカン・ウォーター・ワークス (米国/公益事業)	アメリカン・ウォーター・ワークスは米国最大の民間水道会社です。配水、上下水道施設・システムの運用保守などの水関連サービスを提供しており、より多くの米国民への清潔な水の供給に貢献しています。また、水不足問題が深刻化するカリフォルニア州においては淡水化ビジネスを手掛けています。	
ザイレム (米国/資本財・サービス)	ザイレムは米国の水関連インフラ・計測機器メーカーです。水質および水理動態に関連する計測や分析技術に優れており、表層水から深海用までの各種水質計、総合観測システム、流速・流量計、多項目水質計などを手掛けています。エネルギー効率の高い排水処理装置や革新的な移動式水処理容器などの新技術への期待は高く、同社は地方自治体や産業界での需要の拡大を受けて成長を続けています。	
パーティブ・ホールディングス (米国/資本財・サービス)	パーティブ・ホールディングスは米国のデジタルインフラ設計・製造・サービス企業です。幅広い分野の顧客に向けてデジタルインフラ機器を提供しています。特に足元ではAIデータセンター向けに液体冷却ソリューションを開発・供給しており、液浸冷却技術を活用した高密度データセンターの冷却で事業機会を捉えています。	
セバーン・トレント (英国/公益事業)	セバーン・トレントは英国の水道事業会社です。地域での水道事業サービスのほか、水源となる湖川の保全に注力しています。農家や土地所有者と協力することで、農業やその他流出物が川に流れ込むのを減らし、雨水の越流や下水の湖川への流出を可能な限り抑えています。	
ノボネシス(ノボザイムズ)B (デンマーク/素材)	ノボネシスはデンマークのバイオテクノロジー企業です。主に産業用酵素製品の研究開発を行っています。様々な分野で活用される酵素は、水資源やエネルギー消費量の削減、廃棄物の減少だけでなく、排水処理でも貢献しており、環境負荷低減の技術として注目されています。	
スパイラックス・グループ (英国/資本財・サービス)	スパイラックス・グループは英国の熱流体技術ソリューション会社です。エンジニアリングや建築関連の専門技術サービスを提供しています。同社は、雨水管理や排水処理におけるコストや廃棄物を削減するだけでなく、環境負荷の低減を図るソリューションを提供しており、公共・民間の両方で需要を拡大しています。	
A. O. スミス (米国/資本財・サービス)	A. O. スミスは米国の給湯器・水処理製品メーカーです。売上の大半は米国内ですが、15年以上前からアジアに進出しており、清潔な水への需要が高まっている中国などでは水処理装置メーカーとして急速にシェアを伸ばしており、アジアで清潔な水の供給に貢献しています。	
KLA (米国/情報技術)	KLAは米国の半導体関連会社です。半導体やマイクロ電子機器産業向けに、製造工程を精密に管理・分析するプロセス制御機器や歩留まり解析システムを製造、販売しています。売上高の大半を占める半導体プロセス制御部門では、集積回路(IC)製造において生産性向上を促すことで、大幅な水消費の削減を実現しており、今後も高い需要が期待されます。	

※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）の産業グループによるものです。

※個別企業の推奨を目的とするものではありません。

## ファンドの目的・特色

### ファンドの目的

- ・日本を含む世界の水に関連する事業を行なう企業の株式に投資を行ない、信託財産の成長をめざします。

### ファンドの特色

- ・日本を含む世界の水に関連する事業を行なう企業の株式に投資します。
- ・株式の運用は、インバックス・アセットマネジメントが行ないます。
- ・毎年4月2日および10月2日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

## 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

株価の変動 (価格変動リスク・信用リスク)	<p>株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。</p> <p>当ファンドは、特定の分野に関連する銘柄に投資しますので、こうした銘柄の下落局面では、基準価額が大きく下落することがあります。</p> <p>また、当ファンドは中小型株式に投資することがあります。中小型の株式については、株式市場全体の動きと比較して株価が大きく変動するリスクがあり、当ファンドの基準価額に影響する可能性があります。</p> <p>新興国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。</p>
為替変動リスク	<p>外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。特に、新興国の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。</p>
カントリー・リスク	<p>投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となる場合があります。</p> <p>新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。</p>
その他	<p>解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。</p>

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- 当ファンドは、忠実義務に基づき、投資する投資信託証券について、その価格が入手できない、または入手した価格で評価すべきでないと考えられる場合には、適正と判断する直近の日の価格など当社が時価と認める価格で評価することがあります。

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) <u>3.3%(税抜3.0%)</u>	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引 執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率1.177% (税抜1.07%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して 左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上 され日々の基準価額に反映されます。
配分 (税抜) (注1)	委託会社	年率0.35%
	販売会社	年率0.70%
	受託会社	年率0.02%
投資対象とする 投資信託証券 (目論見書作成時点)	年率0.76%	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用 (目論見書作成時点)	<u>年率1.937%(税込)程度</u>	
その他の費用・ 手数料	(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプ ション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等 を信託財産でご負担いただきます。

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## お申込みメモ

購入単位	最低単位を 1 円単位または 1 口単位として販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額（1 万口当たり）
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。
換金単位	最低単位を 1 口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1 万口当たり）
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して 6 営業日目からお支払いします。
申込受付中止日	① ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所またはルクセンブルクの銀行の休業日 ② ルクセンブルクの銀行の休業日（土曜日、日曜日および委託会社の休業日を除きます。）の前営業日 ③ ①②のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日 （注）申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。
申込締切時間	原則として、午後 3 時 30 分まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの） なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。
購入・換金申込受付 の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生した場合には、購入、換金の申込みの受け付けを中止すること、すでに受け付けた購入、換金の申込みを取消すことがあります。
繰上償還	◎ 主要投資対象とする組入外国投資証券が存続しないこととなる場合には、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）させます。 ◎ 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、繰上償還できます。 ・受益権の口数が 30 億口を下ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
収益分配	年 2 回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 （注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。 なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に NISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 当ファンドは、NISA の対象ではありません。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
一般社団法人資産運用業協会

加入協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

※詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

Daiwa Asset Management

## ファンドに関するお電話でのお問い合わせ

# ☎0120-106212

(受付時間：営業日 9：00～17：00)

※お客様のお取引状況・その他口座内容に関するご照会はお取引先の銀行、証券会社等の金融機関にお問い合わせください。

URL <https://www.daiwa-am.co.jp/>

### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

世界水資源関連株式ファンド

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。